議案第67号 認定　令和７年度 一般会計歳入歳出決算

《９月定例会》

８月27日から９月25日までの30日間にわたり、議会定例会が開かれ、市長提出議案21件を審議しました。

令和７年度 一般会計決算をチェック！

歳　入
217億2134万7710円
（前年度比3.1％増）

歳　出
204億5755万9639円
（前年度比2.0％増）

差引額
約12.6億円
12億6378万8071円

企画政策課

問　ふるさと納税事業の成果について、「農業や産業の振興に寄与した。」とあるが、具体的にどのようなことか。また、ふるさと納税額を増やすためにどのような工夫やPRを行ったのか。

答　ふるさと納税事業は、令和6年度と比較して、約800万円増額したことが成果である。 返礼品の梨だけでも、令和6年度は917万円の寄附だったところ、昨年度は1424万円の寄附を集めた。先行予約等の取組を行ったことで、寄附額が増えて農業や産業への寄与につながったと考える。12月の駆け込み需要に合わせて広告費をかけたり、制度改正前にPRしたりと工夫をしている。

総務課

問　職員研修事業について、令和6年度と比較して決算額が減少しているが、その理由は。

答　民間の研修機関の受講料が比較的高く、受講人数によって変動がある。また、令和7年度は、庁舎火災を受け、例年実施している職員全体研修を埼玉東部消防組合に協力いただいたため、20～30万円程度かかっている研修費用を抑えられた。

街づくり課

問　エリアマネジメント推進事業の業務委託はほとんどが人件費と聞いているが、その割合は。

答　令和6年度は87.7%、令和7年度は95.5%となっている。業務委託はイベント開催のほか、エリアマネジメント団体の収益事業確保の検討支援なども実施している。

ファシリティマネジメント推進課

問　公用車集中管理事業について、令和6年度と比較して保険料が安価となっているが、その要因は。

答　車両の入れ替えに伴い、新しい車両の保険料が安価となったこと、また、車両の安全性能が上がり、事故率が下がったこと等も安価となった要因と考える。

安心安全課

問　防災用備蓄品等整備事業について、簡易トイレや段ボールベッドの備蓄数はどのくらいあるのか。また、安心安全課として目標備蓄数は設定しているのか。

答　令和7年度の購入数は、簡易トイレが36台、段ボールベッドが180基である。備蓄総数については、簡易トイレが1,889台、携帯トイレが17,500個、簡易ベッドが184基である。最終的な目標備蓄数について、具体的な目標数は設定しておらず、できるだけ多く備蓄するために年々追加していく。

財政課

問　市役所庁舎火災に係る財源の市債及び特別交付税はどのように判断したのか。

答　原則、市債は施設の復旧などの建設経費、特別交付税はソフト経費が対象として整理している。

商工観光課

問　プレミアム付商品券事業について、商品券の最終的な換金率はどのくらいか。

答　発行額は1億8000万円、そのうち換金額は1億7923万8千円で、使用率は99.58％である。

福祉課

問　重層的支援体制整備事業は、令和7年度から開始したが、成果と課題は。

答　成果は、各種制度の利用には至らないが、見守り等の支援が必要なかたに対し、アウトリーチにより、相談に入ることができたことである。課題は、子ども食堂や居場所づくりなどの地域づくり事業にしっかり取り組まなければならないことである。

健康増進課

問　白岡中央総合病院の機器等取得支援基金の積立金額は、どういう根拠に基づいて算出されているか。また、地域貢献に資する機器等の取得について、補助対象となる機器は。

答　積立金の内訳は、一般財源が1000万円、企業版ふるさと納税が8660万円、利子で16万8348円となっている。機器については、ＭＲＩ、災害用簡易ベッド、非常用電源、空気清浄機などを想定している。詳細については、今後、病院側と協議していくこととなる。

教育総務課

問　地域クラブ活動のプログラミングでパソコンを使う。 タブレット端末では限界がある。使用できるコンピュータ室やパソコンはあるのか。

答　地域クラブ活動におけるプログラミングについては、白岡中学校のコンピュータ室を使用予定である。 パソコンは、市職員が使用していたパソコンをデータ消去し、クリーニングした状態で使用する予定である。

生涯学習課

問　市内遺跡発掘調査事業について、発掘調査報告書を刊行したとあるが、多額の経費をかけて刊行された報告書は、どのくらいの人が目にするものか。

答　発掘調査報告書は300冊刊行し、各所に配布しているほか、生涯学習センター窓口での頒布や図書館に配架し閲覧に供している。

教育指導課

問　学習用タブレット端末の故障等の修繕には、保険適用があると思うが、修繕件数と内容は。また、修繕中の対応は。

答　保険適用は201件で、主な修繕内容は画面の破損である。修繕に出した際は、GIGAスクールサポーターが代替機を手配している。

総括質疑

問　庁舎火災は想定外であり、発生後、今回が初の決算である。火災に起因し発生した歳出の総額は。また、歳入の内訳と総額は。

答　庁舎火災に関連する歳出決算額は、総額が約4億9599万円である。歳入決算の内訳は、特別交付税、国庫補助金、県支出金、寄附金、市債及び諸収入があり、総額が約3億8734万円である。

問　予算編成に当たってのポイントは3項目あった。各々で最も成果があった事業は何か。また、課題とする事業と今後の取組は。

答　成果は、都市計画道路白岡宮代線の本線整備の完了、体育館等への空調設備の設置、基幹業務システムの標準化・共通化への対応がある。課題は、実施を見送った市役所本庁舎設備の改修であるが、庁舎火災からの復旧・復興に含めて整備を検討していく。

（編集・レイアウト担当　野々口）